

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容⑤】 9年間を見通した情報活用能力の育成

情報活用能力

目標を明確にし、計画的に中学校進学へ

中学校での活動が円滑に進むように、校下小学校2校の情報活用能力が同程度となるようにしました。具体的に、次の5つを小学校卒業までの達成目標としました。

- ★1 十分な速さで正確な文字の入力
- ★2 クラウドを用いた協働作業
- ★3 複数の表現手段を組み合わせた表現方法
- ★4 効果的なプレゼンテーション方法
- ★5 通信ネットワーク上のルールやマナー

文部科学省【情報活用能力の体系表例】(令和元年度版)全体版より抜粋



小学校

中学校

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

2年生

3年生

学校行事

小1:4月「端末開き」

6年生が1年生に端末を使うときの注意点や操作方法を伝えます。



全校「キーボード入力検定」

目標は、小学校卒業までに、1分間に50文字!入力できた文字数に合わせて昇級も。



全校「学習発表会」

SDGsや平和学習など、調べたことをスライドにまとめ、全校児童に発表しました。



中2「職場体験報告会」

職場体験を通して感じたことや考えたことを、スライドにまとめて発表しました。

